

### 第3回 議会と市民の意見交換会

[2015年5月29日～5月30日]

項目	質問事項	備考
第一回定例議会関連	<p>質問：胎内市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について国の方針に倣うのではなく、市の財政状況に応じた給料ベース、または、民間給料ベースで見直すべきでないか。</p> <p>答 弁：市の財政状況を基準に考えるのは難しいが、意見としては受け賜る。国家公務員並みに給料は減額しているし、職員の数も減らしている。本年度、一般会計の当初予算で職員を9人減らし、金額も前年度より約2,500万円減額している。</p>	
	<p>意見：公務員の給料は、ある程度生活の安定を保障する額である。民間企業も同額位にすることで若い人も安心して定着した仕事に就けるし、街を元気にすることになる。</p>	
	<p>質問：職員の給与水準について、委員会で原案の修正は過去にあったのか。国の方針や民間の水準について、議員はこうあるべきだという審査をするべきだ。</p> <p>答 弁：職員の給与関係の条例について修正案が出されたことはない。</p>	
	<p>質問：地方版総合戦略を策定するうえで、専門家に計画立案を丸投げするのか。地方創生計画について地域代表の議員として、どのような考えをもっているのか。</p> <p>答 弁：策定の委員に市民や企業関係、金融関係、それに労働関係も加えるよう国からの指示がきている。議会としても、執行部と車の両輪のごとく協議しながらまとめる。執行部が丸投げにならないよう議会もしっかり関わっていく。</p>	
	<p>質問：総合戦略の計画に対する議員としてのチェックと検証については。</p> <p>答 弁：議会としても、計画案に対してしっかりチェックしていく。</p>	
	<p>質問：介護保険条例の一部を改正する条例について介護保険料の納期が、これまでの6回から12回になる理由は。</p> <p>答 弁：年間の保険料を6回で払うのと、12回に払うかの違いである。1回の支払負担を少なくする配慮である。</p>	

### 第3回 議会と市民の意見交換会

[2015年5月29日～5月30日]

項目	質問事項	備考
第一回定例会関連	<p>質問：クアハウスたいない条例の一部を改正する条例について（H26年第4回定例会の内容）燃料高騰などにより料金改正になったが、指定管理者主導の営利目的の料金改正となっているのではないか。</p> <p>答 弁：市で査定し指定管理料を決めている。施設の老朽化が進んでおり、今後経費も膨んでくるのでご理解いただきたい。</p>	
	<p>質問：村上の「きれい館」など、他の施設の料金と比べると何倍も高い。料金改正が一本化されているのではないか。</p> <p>答 弁：近隣市町村の施設と比較し調べる。</p>	
	<p>意見：利用客が3割減る予想に対し、料金の値上げに議員が安易に賛成すべきではない。家族利用料金が高くなるのはおかしい。近隣市町村の施設の料金に合わせるべきだ。</p>	
	市議会議員の定数について	<p>質問：胎内市の人口規模で適正議員数は何人くらいか。</p> <p>答 弁：適正という人数はないが、条例では18人となっている。</p>
<p>意見：無競争で見直しというのもあるが、市民の意見が議会に反映させるため、むしろ多い方がいいのではないか。報酬もそれなりに見合う額にして、期待される議員活動をして欲しい。</p>		
<p>質問：胎内市の18人の定数は、何の基準で決まったのか。他市町村と比較したのか。</p> <p>答 弁：合併時は26人。5年前、議員間で問題提起があり、人口や財政力を勘案し18人になった。</p>		
<p>意見：他の市町村では定数に至らないところもあるように、議員のなり手がいなくなっている。極論ではあるが現在の18人から半減の9人にして、報酬も倍にしたらどうか。また市民の声が議会に届かないということであれば、逆に人数を増やして報酬を下げる考え方もある。</p>		
<p>意見：定数については、多いか少ないか判断は決めかねる。なぜなら、行政の言いなりの議員であれば数はいらぬし、市民の声を反映させ、市の財政活性化のため働く議員であればそれなりに必要である。</p>		

**第3回 議会と市民の意見交換会**  
**[2015年5月29日～5月30日]**

項目	質 問 事 項	備 考
市 議 会 議 員 の 定 数 に つ い て	<p>質 問： 議員一人一人の考えとしては多いと思っているのか、少ないと考えているのか。あるいは減らさなくてはいけないと思っているのか。</p> <p>答 弁： 議員は選挙をして支持者が何人いるということで4年間議員として活動できる。その意味で選挙は必要である。18人の定数から減っても、今後選挙の確証はない。議会に対する皆さんの思いを勘案しながら決めていきたい。</p>	
	<p>質 問： 減らさないでこのままで良いと思う。減らす理由が分からない。減らして給料を上げるつもりか。</p> <p>答 弁： 胎内市の4年後を見据えた場合、あと2年位で3万人を割る状況にある。類似市と比較したとき、いまの定数が適正なのかは財源が一番大きい。このことからいま定数について検討している。はじめに削減ありきではない。</p>	
	<p>質 問： 議員定数を考えた場合、全国の同規模の市との比較ではなく、個々議員が胎内市は何人減らしても大丈夫なのか、考えたことはあるのか。</p> <p>答 弁： 考えている。</p>	
	<p>質 問： 議会活動をしっかりやってもらえれば、減らす必要はないと考える。現在、何人減らすのか決まっているのか。</p> <p>答 弁： そこで、さっきの（市民参加者）佐藤さんの意見と同じなのですね。（報酬とのリンクしているのか）</p>	
	<p>意 見： 一人一人の議員が、胎内市のために色々な活動をしてもらえば良いので、減らす必要はない。</p>	
	<p>質 問： 議会を傍聴して思うのは、当然のことであるが、議員さんが勉強して議会に臨んでいると感じているので、すごく勉強になる。もっとそういう面を市民に知ってほしいと感じる。極端なことを言えば、いろんな意見が反映できるので議員さんは多い方が良いと思う。</p> <p>答 弁： 議会内でさまざまな意見がある。議員定数について県内また全国の同規模の市と比較し、議員が主体的に取り組み、市民の意見も聞きながら、早急に結論を出すべきと思う。</p>	

**第3回 議会と市民の意見交換会**  
**[2015年5月29日～5月30日]**

項目	質 問 事 項	備 考
市 議 会 議 員 の 定 数 に つ い て	<p>質 問： 議員を何期もやっているベテランもいるわけだが、議員が少ないと思っているのか。これでいいと思っているのか。また、議員活動が忙しいと思っているのか。</p> <p>答 弁： 一期4年間の在職中に支持者を増やし、議員活動をやっていくと自分の守備範囲も広がっていく。働き甲斐が出てくる。地区の代表、地域の代表というが、そうでなくオール胎内である。そんな中で自分の支持者の輪が広がって行く。そうすると、全体が見えてくる。それはある意味で良い事だと感じている。専業の議員もいる。議員報酬が生活給になる。そんな状態で新たに立候補する人が出てくるか難しいところである。昨年、胎内市特別報酬等審議会は議員定数を適正にしたのち議員報酬を見直すべきと答申した。</p>	
	<p>答 弁： 旧黒川村時代に議員に当選し、合併後比較にならないほど忙しい。それだけやり甲斐がある。合併に伴っていろんな事業や地域の問題があって、本当に充実した議会生活をしている。大変忙しいです。</p>	
	<p>答 弁： 定数を削減すると市民の声を聞く場が少なくなる。議員として街を良くしたい、市民生活に困ったことあればそれを解決に向けてやるのが議員である。いま議会で議員定数について議論しているが、それで本当にいい街がつかれるのか疑問に思う。</p>	
	<p>答 弁： 先回の改選が無投票の時、新潟日報の論評の中で、無投票に対し定数削減もひとつの方法だと言っている。聞こえてくる市民の声も「その通りだ」と非常に多く聞こえてきた。その声に答えていかなければならない。個人的には定数を削減する必要があると思う。胎内市の人口が3万人を切る状況となっているので、削減はやむを得ないと思う。</p>	
	<p>答 弁： 議員定数、報酬は市民の意見を伺いながら決めるとしている。先ほどから減らす必要がないという声があり、考え深いものを感じている。この会場の方は、非常に関心が深く、議会とは、議員とは何かを常日頃から考えているから、そういう意見が出ると思いながら聞いていた。定数削減については、単純に選挙がなく無投票であったからだということに行き着く。議会議員に就くには、選挙で洗礼を受けないと良くないということであり、定数18人が決して多すぎるとは思っていない。他市のバランスを考えつつ、もっと減らしているところもあるし、結論的には人口3万人を切るというタイミングで、18人から16人にするのがよいと個人的に思う。</p>	

**第3回 議会と市民の意見交換会**  
**[2015年5月29日～5月30日]**

項目	質 問 事 項	備 考
市議会議員の定数について	答 弁： 定数を削減して議会が活性化するのであれば賛成である。削減したら次期改選時が選挙になる保証はない。若者に積極的にアピールし、懇談の場を設けて政治に興味を持ってもらい、若い人が立候補するような仕組みにすることが我々に課せられた使命だ。削減する前にやることはある。	
	答 弁： 議員数18人で足りているのか、少ないのか、ちょうどいいのか判らない。先ほど議長も言われたように、もし仮に報酬が少し改定されるということであるならば、若い人が出られる土壌が出来るのではないかと思っている。	
	意 見： 胎内市は人口に占める議員の割合が多いので、これからの人口減少を考えると減らしても良いと思う。	
	意 見： 議員を減らして施策立案、行政チェックができるか心配である。	
	意 見： 胎内市は議員報酬が少ないので、議員数を減らして報酬を上げて良いのでは。	
	意 見： 議会を成り立たせるためには、議論する最低限度の議員数は当然必要である。議員報酬についても最低限度の生活ができる報酬にしても良いのではないか。	
	意 見： 2012年4月現在、胎内市18人、人口31,424人、議員1人当たり1,746人、少ない方でない。多すぎる感じ。新潟市が1人当たり14,500人、長岡市が1人当たり7,430人、胎内市が1,746人。単純計算であるが、2,000人と考えてみた場合では15名となるが、単純にいくものでもない。定数の議論よりも、成果をどう上げるかが問題。	
	意 見： 定数の問題ではなく、執行部と議会の緊張関係が見えてこない。	
	意 見： 定数の問題は、多くてもよいが市民が興味を持つような議論がないのが問題。	
	意 見： 市報を見るとイエスマンしかない、イエスマンしかいないのなら議案の審議はいらない。	
	意 見： 緊迫した議会、活性化した議会なら市民も目を向ける。	
意 見： 議員定数は15人、3人減で妥当、議員の質もよくなり、緊迫感もある。		
意 見： 議員自身を評価するシステムを考えないと、半年、1年に1回とか、話し合いの機会を設けるとか。		

### 第3回 議会と市民の意見交換会

[2015年5月29日～5月30日]

項目	質問事項	備考
定数	意見：今の議員は自覚が足りない。	
	意見：今の議会を活発にして欲しい。それから定数の議論しても遅くない。	
総合体育館	<p>質問：新しい体育館の利用料金システムは、いつ決定するか。</p> <p>答 弁：9月の第3回定例会で執行部より利用料金、利用内容の提案がある。今は白紙状態、完成は今年度、正式な利用は来年4月からの予定。利用料金は9月の定例議会で決定される。</p>	
議会関係	<p>質問：今日の意見交換会で参加人数が少ないことを、どのように考えているのか。</p> <p>答 弁：昨年はこの会場に19人参加していただいた。今回は大勢の皆さんのご意見をお聞きしたいということで、市報や議会報に記事を掲載し、防災無線による周知もした。議員に対する期待や思いが、あまり無いのかとの率直な意見である。</p>	
	意見：市の執行幹部には女性が一人もいない。女性幹部は行政側の問題だが、市長を筆頭とする執行機関および議会で問題を解決すべきと思う。市長任せにせず、議会として、女性幹部をいつまで何人と目標を決めて取り組むべきである。	
	<p>質問：議会だよりも、決議結果が欠になっている議員があるがその理由は。</p> <p>答 弁：家庭の都合で途中退席し、表決を執るときに不在だった。</p>	
	<p>質問：議会基本条例に基づき、政策立案、条例制定の動きがあってもいいのでは。</p> <p>答 弁：議員発議の条例制定は第1回定例会ではなかったが、国に対し意見書を提出した。黒川地区の水道料金問題、開志国際高校の補助金問題では、緊迫した議論、審議をした。市民のために必要な施策があるなら執行部に提案していく。</p>	

**第3回 議会と市民の意見交換会**  
**[2015年5月29日～5月30日]**

項目	質 問 事 項	備 考
<b>議 会 関 係</b>	<p>質 問： 地域の活性化につなげるため、地区によっては都会の学生に農作業体験を提供している。議会としても是非、積極的に進めていけるようバックアップして頂きたい。それらに関して、議会だよりを見ると議員から聞かれないので、議員がこのような取り組みをどう思っているのか、その辺を聞きたい。            企業誘致、また、都会から子どもたちや若者を体験活動で誘致し、いろいろ活動やっているが、議会だよりによりこのような記事がまったく載ってないので、議員はこういう活動をしていること分かっているのか。また、各地域で積極的に進めて頂きたい。</p> <p>答 弁： 鉾江集落、大長谷集落などでいろいろ取り組みをやっており、活性化のためにさらに議会が一体となって取り組む。市で地方版総合戦略策定作業を行っており、そこに議員の考えを反映させていく。</p>	
	<p>質 問： 会派の中から多くの議員が質問できる運営はできないのか。</p> <p>答 弁： 各会派による質問者数の制限はない。</p>	
	<p>質 問： 議会にも女性が必要であると考えますが、市の幹部に女性の登用はないのか</p> <p>答 弁： 以前打診をして断られている。意欲のある女性職員はいるので今後は増えると考えている。</p>	
	<p>質 問： 中条駅の建て替えについての情報が少ない。</p> <p>答 弁： 用地取得は進んでいる。新駅舎についてはJ Rと協議を行なっているが、公表できない部分がある。</p>	
<b>議 会 だ よ り</b>	<p>質 問： 市民との意見交換会の報告が議会だよりでは要約されて掲載されている。貴重な意見はすべて載せるべきではないか。</p> <p>答 弁： 議会運営委員会で全質問、答弁を精査し、市民に広く公開すべきと判断したものについて掲載をしている。今後は必要性に応じて検討していく。</p>	
	<p>質 問： 議会だよりにより議員個人の写真是いかなものか。</p> <p>答 弁： 今後、個人の特定の写真是入れない。</p>	

### 第3回 議会と市民の意見交換会

[2015年5月29日～5月30日]

項目	質問事項	備考
人口減少・少子高齢化対策関係	意見：少子高齢化に歯止めをかける政策に、議会主導の地方創生、活性化を積極的に図っていくべきだ。	
	質問：高齢福祉政策は、今後どのように取り組んでいくのか。	
	答 弁：これから高齢化社会へ進んでいくことは誰にも止められない。高齢者に光を当てた住みよい、安心して暮らすことができる政策に取り組んでいく。 乙地区は、今年春から60歳以上の方の組織「いきいきクラブ」を作り親睦を図る活動をしている。	
	質問：全国的に少子高齢化、空き家問題、胎内市、当地区も急速に進んでいる。国、県に先駆けて胎内市として人口増、若者を呼び込む方策をスピード感持って進めて欲しい。 胎内市、中条、乙、年度ごとの転入、転出、人口増減を知りたい。	
	答 弁：生まれる人、亡くなる人、都会に出る人、都会から田舎に来る人、その数字は出ている。亡くなる人が生まれる人の倍。空き家対策も2つある、1つは壊れそうで危険な物とまだ使える空き家、行政が区別して調査する事が必要。 少子化の話、3人目をもうけないのは教育にお金がかかり過ぎるからである。	
	質問：議員として、人口減少問題をどう捉えているか。胎内市は臨時職員が多いと聞くがどうしてなのか。  答 弁：人口減少は、全国的な傾向で福祉、特に子育て支援を充実することが重要であると思う。職員数は市の定員適正化計画に沿って正職員を減らしたことによる補充や国の緊急雇用対策事業で臨時職員が他市に比べて多いのではないかと。なるべく雇用環境を整えていく。	
企業誘致	質問：中条中核工業団地に進出している企業の法人税はどうなっているか。	
	答 弁：大手企業の多くで業績が上がっているため、法人税も増えると見込んでいる。新規の企業に対しては5年間の優遇期間があるため、税収はさほど見込めないが将来的には法人税は増えていくものと考えている。	



### 第3回 議会と市民の意見交換会

[2015年5月29日～5月30日]

項目	質問事項	備考
観光事業関連	<p>質問：胎内市の観光PRが足りない。何か意見は持っているか。奥胎内⇒自然、乙⇒乙宝寺、中条坂額御前、鳥坂山、子どもたちも遠足で足を鍛えてもらいたい。</p> <p>答 弁：観光のことは、そのとおりと思う。山から海という感じでPRし、開発していければと思う。皆様からもご意見ありましたらよろしくお願ひしたい。</p>	
	<p>質問：クアハウスの料金変更よくわからないので教えて欲しい。健康のために利用している市民のことを考えて欲しい。値上げされると使用しにくい。</p> <p>答 弁：4月から料金が改正になった。去年までは家族会員券は31,880円1人追加で5,000円。家族会員券は今年より廃止になった。1ヶ月単位で会員券販売。指定管理者は燃料や電気料金の高騰により、市からの委託料だけでは負担も大変で値上げに踏み切った。胎内市も日帰り温泉ということでロイヤル胎内パークホテル600円、塩の湯温泉65歳以上300円で整合性を考え値上げに踏み切った。</p>	
	<p>質問：胎内市には道の駅があるが、よその道の駅とは違う。世の中でいう道の駅でないと思う。日東道の胎内インター付近にトイレを併設した道の駅をつくり、胎内市の物産を中心に販売してはどうか。</p> <p>答 弁：大変いい意見と思います。</p>	

### 第3回 議会と市民の意見交換会

[2015年5月29日～5月30日]

項目	質問事項	備考
観光事業関連	<p>質問：「赤字続きの観光事業から市は手を引け」という意見が以前からあるが、私はリゾート事業の再生を願っている一人だ。縦割りがどうこうのといったことを聞くが、市長や課長のリーダーシップはとれているのか。市民参加（参画）が大事というが、これまでの黒川地区地域審議会はいつも質疑応答で終わっていて、リゾート再生の具体的な意見等がまったく出ていなかった。こうした点について、特に黒川地区の議員はどういう問題意識をもっているか。</p> <p>答 弁：当初は民営化という話があったが、起債等で頓挫したと聞いている。今後は大きな観光会社などと提携した方がよいと思う。 合併して10年、この間、市長はいろいろ検討してきた。内部検討でおもてに出てない案がいくつかあったと聞いている。我々議員は多くの質問をおこないリゾート再生を検討してきた。 今後は、市民参加で取り組んでいくしかない。 観光事業は、プロでも困難な経営状況だが、専門職に任せて再生の道を探るべきで、そのためにも、議員全員で一生懸命考えていく。</p>	
フルーツパーク	<p>質問：地方創生の今、この事業を今後どう生かしていくのか、議員各位の考えは。</p> <p>答 弁：加工用ぶどうとブルーベリーに特化して収支状況の改善を試みている。ワインコンクールで賞をとり、胎内産ワインの評価が上がり、全国的にも知られるようになった。連続して賞をとるのは難しいが、品質の良いぶどうをつくり、一定の価格で売れるワインを目指すとしている。未利用地については、薬草や山菜などの栽培を検討している。</p>	
防災関連	<p>質問：防犯灯の維持費が地域の負担になっている。市で負担してもらえないものか。</p> <p>答 弁：県内他市町村でもいくつか補助例があり、来年度に向けて検討中とのことである。</p> <p>質問：緊急時の避難場所が遠く、高齢者の避難が困難である。身近な場所に避難場所を設置するべきではないか。</p> <p>答 弁：避難所としての安全性を優先しての指定であるが、地域の意見も踏まえて要望していく。</p>	

### 第3回 議会と市民の意見交換会

[2015年5月29日～5月30日]

項目	質問事項	備考
企業会計等	<p>質問： 公共下水道事業、農業集落排水事業は一本化しないのか。簡易水道の値上げは事前の説明もなく一方的に値上げしたが、このことを議員はどう思っているか。各家庭に25%も値上げして病院は値上げしないのはどういうことか。</p> <p>答 弁： 合併前、統一するという申し合わせは行われていなかったが、今後は検討行くと思う。簡易水道の件は、早く説明すべきであって申しわけなかった。大口利用の2つの企業が、中条中核工業団地に移ったのも要因の1つであるし、中長期的な財務状況のシュミレーションが行われていなく、機械設備の更新や新規導入、配水管の修繕等で基金の枯渇が生じた。</p>	
鳥獣被害	<p>質問： 新潟県は鳥獣被害対策費を増額したと聞いているが、胎内市はどうか。電気柵等の補助はあるのか。</p> <p>答 弁： 狩猟免許を取得する議員が出てきた。市長も職員に働きかけると言っている。集落がまとまれば補助金が受けられる。</p>	
地域課題	<p>質問： 国土交通省では日本海側の地震を警戒している、日本海津波予想では、胎内市でいうと、最大津波の高さ、到達時間、8.5m⇒8分で来る。東南海地震の5倍。近いうちではという説もある。胎内市では地震の対策チーム、または研究室とかあるのか、無いようなら至急考えるべきでは。きのと交流館は避難場所、海拔4.2m見直しは。</p> <p>答 弁： 地震で中断（答弁なし）</p> <p>質問： 防災行政無線は地区だけでもできる。地域のエリア放送もできる。防災行政無線の活用の仕方をもっと市報で周知して欲しい。</p> <p>答 弁： 「こちらは防災胎内市です」という言い方になっていると思う。今後、執行部と相談したいと思う。区長会等で報告になるか、説明になるか、市報になるかいずれにしても検討します。</p> <p>質問： 海岸線の侵食防止のために沖合にテトラポットを入れるべきでは。</p> <p>答 弁： 離岸堤に隙間がある為に砂が侵食されている現状がある。しっかりとした対策をするよう県に要望を行なっていく。</p>	

### 第3回 議会と市民の意見交換会

[2015年5月29日～5月30日]

項目	質問事項	備考
地域課題	<p>質問：朝晩の臭気測定をするべきでは。</p>	
	<p>答 弁： 5、6年前に比べて格段に改善されたが、気温の高い日などは現在も臭いを感じる。改善に向けて取り組んでいく。</p>	
	<p>質問：旧村松浜小学校の屋根に穴が開いているため、有効活用も出来ない。</p>	
	<p>答 弁：平成27年度中に公共施設等総合管理計画を策定する予定である。</p>	
	<p>質問：今後の老朽化したガス管・水道管のインフラ交換はどうなっているのか</p>	
	<p>答 弁：ガス管は民間企業であるが、水道管に関しては計画に基づいて維持補修を随時行なっている。</p>	
	<p>質問：水道水の放射能汚染の心配は。</p>	
	<p>答 弁：各浄水場で検査を行い、問題が無い範囲であるとの報告を受けている。</p>	
<p>意見：下水道料金が低い。</p>		
<p>質問：住基カードを利用し、コンビニエンスストアであらゆる証明書が受け取れるよう検討してもらいたい。</p>		
<p>答 弁：わかりました。</p>		
<p>質問：有償ボランティア、子ども見守り隊、空き缶拾いなど幅広く包み込むような制度にして欲しい。限定した有償ボランティアにして欲しくない。参加したいと思ったら参加できるように検討して欲しい。</p>		
<p>答 弁：今年度7月から予定しているが、ボランティアに参加した人が行政に報告という形で、ポイントが貯まると商品券がもらえる形で進めている。</p>		